

主催：高等教育開発推進センター / 後援：教育史学会
教育関係共同利用拠点提供プログラム：高等教育論 L-01

植民地時代の文化と教育Ⅱ

朝鮮と台湾における 植民地大学

2011年 **12**月 **17**日(土) 13:00 ~ 18:00

東北大学川内北キャンパス・マルチメディア棟6階大ホール

東アジア共同体論など、アジアにおける共生の課題が大きくなっている今、過去の歴史的経験をみつめ、新たな関係構築の基礎とすることは、これからの社会を担う人々にとって不可欠なものです。

特に大学人にとって、植民地における帝国大学が、植民地および宗主国日本にとってどのような存在であり、社会にどのような影響を与えていたか、という問題は大きな意味を持つものではないでしょうか。

本シンポジウムでは、当該時期の帝国大学の持っていた諸機能、たとえば学術の展開・人材の育成などを議論し、それらの全体像を共有することを試みます。ご関心のある方はぜひご参加ください。

使用言語：日本語

どなたでも
ご参加いただけます
参加無料 / 当日参加大歓迎

● プログラム

- 開会挨拶：羽田 貴史（東北大学高等教育開発推進センター教授 / 大学教育支援センター長）
- 趣旨説明：中川 学（東北大学高等教育開発推進センター講師）
- 講演 1：呉 文星『台北帝国大学と熱帯研究』
（国立台湾師範大学教授，主要著書に『台湾の社会的リーダー階層と日本統治』（2010）など）
- 講演 2：白 永瑞『京城帝大の内と外：韓国学術史の再認識』
（延世大学教授，主要著書に『中国現代大学文化研究』（1994）など）
- 講演 3：駒込 武『植民地官僚と帝国大学』
（京都大学准教授，主要著書に『植民地帝国日本の文化統合』（1996）など）
- コメント：佐野 正人（東北大学国際文化研究科准教授）
- 総合討議：司会 / 羽田 貴史・中川 学
- 閉会挨拶：芳賀 満（東北大学高等教育開発推進センター教授）

参加申込み方法 Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/> [東北大学高等教育開発推進センター](#) [検索](#)

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pfhp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お問い合わせ

東北大学高等教育開発推進センター
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Email.pfhp_office@he.tohoku.ac.jp



主催 東北大学高等教育開発推進センター

Center for the Advancement of Higher Education
TOHOKU UNIVERSITY